



国土交通省 関東地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, Kanto Regional Development Bureau

平成22年4月21日(水)

国土交通省 関東地方整備局

高崎河川国道事務所

- 記者発表資料 -

まえばししづかわ

国道17号 前橋渋川バイパス 半田交差点が立体交差に変わります。 ~ 4月23日(金)12時に開通します ~

高崎河川国道事務所では、国道17号前橋渋川バイパスの整備を進めています。このたび、半田交差点(主)高崎安中渋川線の立体化工事が完了しましたので、平成22年4月23日の12時に開通します。

【開通予定日時】平成22年4月23日(金)12時

【開通区間】国道17号 前橋渋川バイパス

半田交差点の立体部(2車線)

延長 約0.5km

《速報》

平成22年3月20日に開通した前橋渋川バイパス4.5km区間及び国道17号の交通量は下記のとおりです。

国道17号坂東橋付近 整備前17,173台(H21.10.14)

整備後10,291台(H22. 4.19)

前橋渋川バイパス

10,273台(H22. 4.19)

交通量は7時~19時の12時間交通量

記者発表クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、刀水クラブ 高崎記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 高崎河川国道事務所

住所：群馬県高崎市栄町6-41

電話：027-345-6000(代)

副所長(道路) 松山 隆雄(まつやま たかお) 内線：204

工務第二課長 平本 和寿(ひらもと かずとし) 内線：411

国道17号前橋渋川バイパスの概要

計画概要

国道17号前橋渋川バイパスは、現在整備を進めている「上武道路」と接続し、群馬県中央部における道路ネットワークを強化するバイパス事業です。前橋市から渋川市に至る区間は、特に朝夕の通勤時間帯、日曜・祝日等において渋滞の著しい坂東橋付近（半田交差点、坂東橋東交差点）の渋滞解消を目的としています。

事業概要

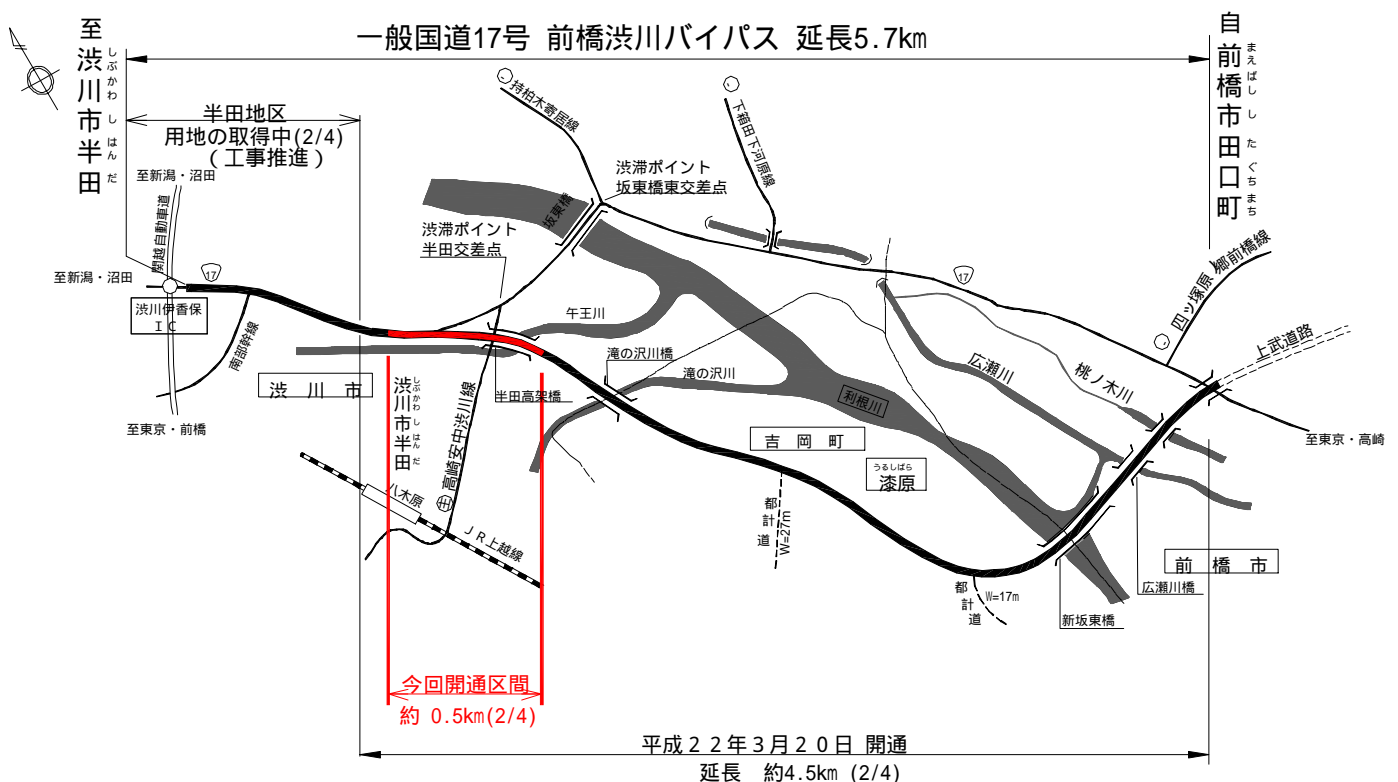
平成8年度に事業化、平成13年度から用地の取得に着手し、平成16年度に工事に着手しました。平成22年3月20日に全体延長5.7kmのうち、前橋市田口町～渋川市半田までの延長約4.5kmのバイパス区間を暫定2車線で開通しました。

今回は半田交差点の立体部約0.5km区間を開通します。

交通開放時は交通事故等が発生しないよう留意いたしますが、通行の際には交通整理員の案内により通行をお願い致します。

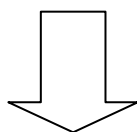
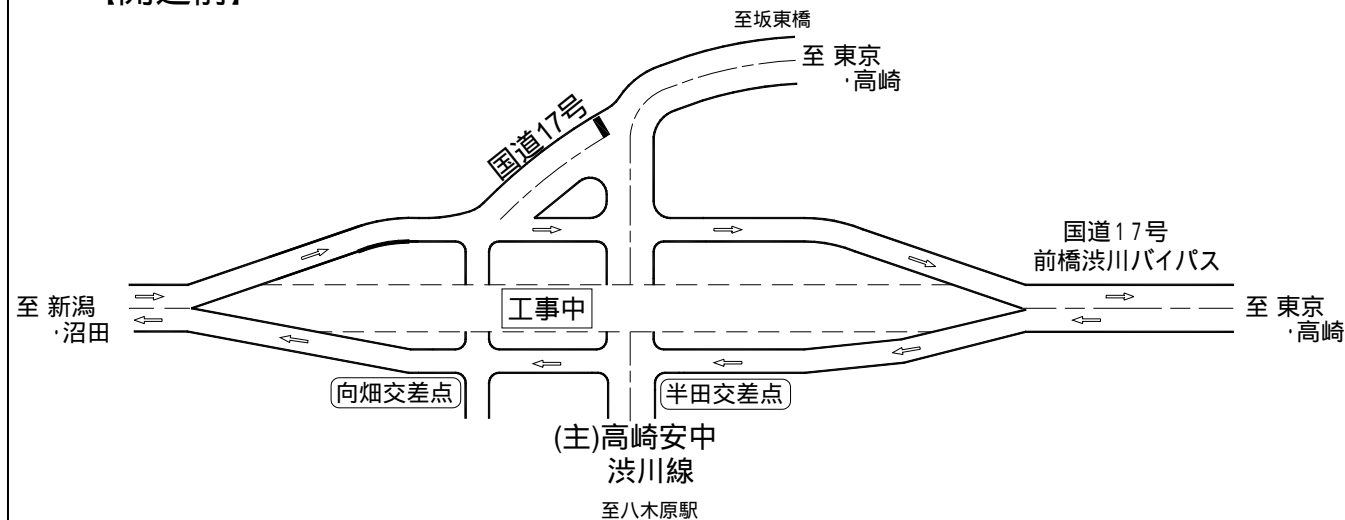
バイパスの末端である(主)高崎安中渋川線との交差点を立体交差にすることにより、より高いバイパス効果が発揮されます。

残る渋川市半田地区の拡幅区間については、用地の取得を進めています。



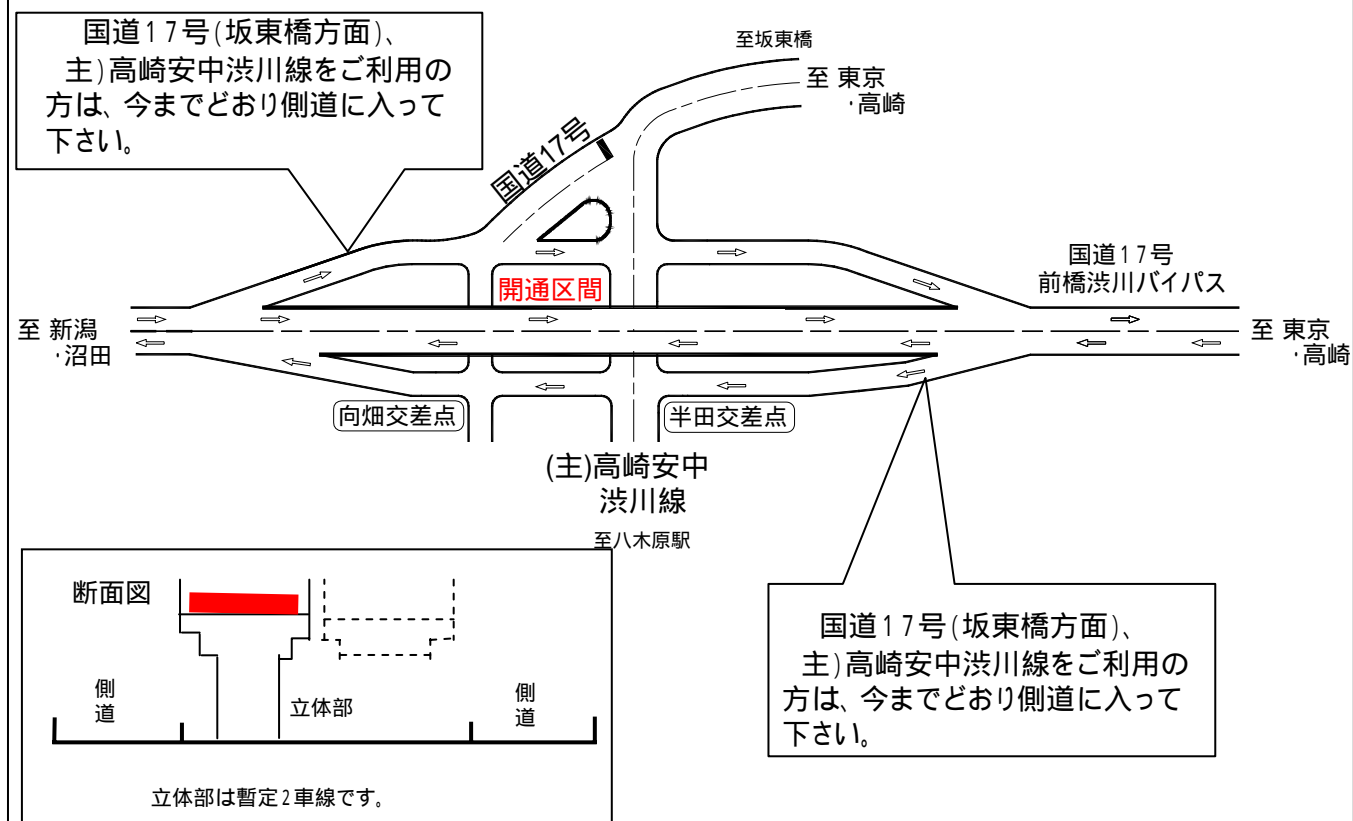
半田交差点の通行形態が変わります

【開通前】



半田交差点が、平面交差から立体交差に変わります。

【開通後】



開通 1 ヶ月後の交通状況について

前橋渋川バイパスへ交通が転換

平成22年3月20日から前橋市田口町地区～渋川市半田地区の延長約4.5kmが開通しました。

開通後の昼間12時間の交通量は、前橋渋川バイパス(吉岡町漆原^{うるしばら}付近)では、10,273台、国道17号の坂東橋付近では、開通前の17,173台から10,291台と約**4割減少**しており、バイパスへ交通転換が図られていることが確認されました。

昼間12時間: 7時～19時



開通前の坂東橋 H19年撮影



開通後の坂東橋 H22.4.18撮影

